

Topics

新アメダスに電子制御 ヒータ式雨量計が採用

皆さんも一度は、耳にしたことがあると思いますが、国内の気象データを取得するための設備として、気象庁のアメダス (AMeDAS) があります。

このアメダスのリニューアルに際し、ANEOSの電子制御ヒータ式雨量発信器 (RS-N52AH) が採用されました。

アメダス (AMeDAS) とは「Automated Meteorological Data Acquisition System」の略で、「地域気象観測システム」といいますが、1974年から運用が開始され、気象状況を時間的、地域的に細かく観測、監視して気象予報や気象災害の防止・軽減に重要な役割を果たしています。降水量を観測する観測所は全国に約1,300か所 (約17km間隔) あります。このうち約840か所 (約21km間隔) では降水量に加えて、現在は、風向・風速、気温、湿度を観測しているほか、雪の多い地方の約330か所では積雪の深さも観測しています。

リニューアルは令和2年度 (2019年度) より始まっていますが、従来の温水式雨量計に変わり、軽量化、メンテナンス性の向上などを実現したANEOSの電子制御ヒータ式の雨量発信器 (RS-N52AH) をご採用頂きました。

この電子制御ヒータ式雨量発信器 (RS-N52AH) は、受水口など雨量計各部の温度を計測し、過熱による降雨雪の蒸発や低温降雪時の着雪を防ぐよう、融雪に最適なヒータコントロールを行い正確に降雨雪を計測する製品となっています。温水式は不凍液 (約8L) を入れた状態で外筒が約17kgとなりますが、電子制御ヒータ式の外筒は約4kgとなり、設置、保守性の向上ならびに不凍液の産廃処理も無く、ヒータの動作点検も容易に行える利便性の良い雨量計になっています。



RS-N52AH
電子制御ヒータ式雨量計

仕様

型式	RS-N52AH (型式証明番号: 20507号)
検出方式	転倒ます式
口径	φ200mm ±0.3%以内
1 転倒雨量	0.5mm
出力信号	0.5mm毎の無電圧接点 (2回路)
精度	雨量20mmまで±0.5mm以内 雨量20mm超える時±3%以内
ヒータ	電子制御式 約330W
外形寸法・質量	φ212mm x 450mm・約5.2kg



柏崎地域気象観測所

新型の電子制御ヒータ式雨量計と温水式雨量計の融雪性能を比較試験した写真です。奥が新型で手前が温水式です



新潟県湯沢冬季試験場にて